

ダイノシール

● 製品番号及び容量

31163	4.0Kg
31363	20.0Kg

● ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

● 特 長

- ◆ 全天候型防水・防湿シール材です。
- ◆ 完全乾燥後の塗膜には柔軟性があり、適切に塗装されると、長期間防水と防湿性を保ちます。
- ◆ 高い防水と防湿性により、シャワー室、サウナ、プールなどの基礎コンクリートのコーティング材として有効です。
- ◆ シームレスルーフ、防湿が必要な金属の接合面改修が難しい部分で長期間の防水や防湿が必要な場所の新設時に施工すべきシール材です。
- ◆ 床下コンクリート面に塗装すれば、防水・防湿性だけでなく、最近問題にされ始めたコンクリートから放出されるラドン²²²の低減もできます。
- ◆ 防音効果も期待できます。
- ◆ 超低 VOC 塗料であり、臭いが低く作業者にも負担が少なく、乾燥すればほぼ無臭になり、居住者にも負担が少ない塗料です。
- ◆ 大気中の Nox と反応して光化学スモッグを作る有害な溶剤を含まず環境に安全。化学物質過敏症の人々にも安全で安心なシール材で多くの実績と、中立第三者認証機関 SCS の小型チャンバーを使用した質量分析試験でも有害化学物質の放散が世界のどの基準に比べても低いことが認証されています。

● 塗 装 条 件

塗装方法	刷毛	ローラー
希釈率(%)	—	—
希釈剤	—	—
準塗布量 Kg/m ² /回	0.12~0.15	0.15~0.20

- 希釈率、標準塗布量は個々の条件で異なります。

● 乾燥時間／塗装間隔

乾燥時間	指触	30分~60分
	指圧	60分~90分
塗装間隔	8時間／最長7日間	

- 乾燥時間は常温での目安であり、塗装時の温度と湿度により異なります。
- 重ね塗りに長時間置いた場合には、表面の埃や汚れを確実に取り除いてから行います。

● 塗装方法及び注意事項

- ◆ 刷毛、ローラーで塗装できます。どちらも使い捨ての安価な物を使用してください。
- ◆ 原則的に水での希釈は不要です。
- ◆ 最良の性能を得るためには、できるだけ均一な膜厚が確保できるように注意して塗装します。
- ◆ 屋根やデッキなど外装で直射日光が当たる箇所の塗装では、防水・防湿効果を確保するため、ピンホールを生じない膜圧、未乾燥時に 0.3~0.4 ミリの塗装を 1 回、地下構造物は 2 回塗装が理想です。
- ◆ 完全乾燥後でもタックが残ります。必ずトップコート²を 2 回以上仕上げ塗装してください。
- ◆ 外装塗装で、余り長期間塗装部分を直射日光に曝したままにしないでください。紫外線に反応し酸化物を形成して表面に異物として残り、仕上げ塗量の塗装に問題を生じる場合があります。シートなどで紫外線遮蔽をしてください。
- ◆ ダイノシール塗装後日にちを置いて仕上げ塗装する場合は、塗装する前に塗装面を水洗いして発生した酸化物を取り除き、乾燥させてから塗装してください。
- ◆ 気温が 8℃以下、塗料温度が 5℃以下になる日や、湿度が 85%以上になるような日には塗装を避けてください。外装では 24 時間以内に降雨や濃霧が予想される日には塗装を避けてください。
- ◆ 塗装中や塗装後 3 日間は換気を十分に取って乾燥を促進してください。水性塗料に含まれる水分で塗装空間が飽和水蒸気量になると、水性塗料は乾燥しません。

エイ・エフ・エム ジャパン株式会社

〒501-6331 岐阜県羽島市堀津町横手3丁目 18-2
info@afm-j.com <http://www.afm-j.com>